

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 056	提案機関名 神奈川県農業経営士協会
要望問題名 相模原市地域に適した緑肥等の研究	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 研究には地域の課題として、以下に取り組んでほしい。 長年、たい肥があまり入っておらず、土づくりがおろそかになっている畑が多くなっているが、この地域は水田が少ないため、稲わらに代わる資材が必要である。津久井在来大豆の残さや小麦の麦わらなども含め、この地区に適した緑肥の検討をしてほしい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名 農業技術センター	担当部所 北相地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等 緑肥の地力保全効果については現場に適する簡易迅速評価法が開発されており、有機農業者等での活用が増えています。技術の利用については、普及指導課が環境保全型農業普及展示圃で実証試験を実施していますので、その結果を情報提供します。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	